

# 環境配慮塗料の種類と内容

制定：平成16年4月19日

改訂：平成21年9月18日

(社)日本塗料工業会 製品安全委員会

環境配慮塗料：人や生物及び地球環境への負荷の低減や緩和を果たす塗料

記号	目的	手段・機能	塗料タイプ	記号	内容	
A	大気汚染低減	低VOC	A1:水系塗料	W1	VOC含有が1%未満の水系塗料,芳香族炭化水素が0.1%未満	
				W2	VOC含有が5%未満の水系塗料,芳香族炭化水素1%未満	
				W3	W1及びW2以外の水系塗料	
		超低VOC	A2:無溶剤塗料		VOC1%以下の塗料	
			A3:ハイソリッド塗料(高固形分)		VOC30%以下(例:「低VOC塗料(溶剤形)」と自主表示)又は塗装時VOCが420g/L以下の塗料	
B	健康・環境負荷低減	有害物質低減	B1:弱溶剤塗料		安衛法第3種有機溶剤(ミネラルスピリット等)を用いた塗料(第2種は5%未満:トルエン、キシレン等)	
			B2:トルエン・キシレンフリー塗料		トルエン、キシレン、エチルベンゼン各々0.1%未満の塗料(例:「非トルエン・キシレン塗料」と自主表示)	
			B3:鉛・クロムフリー塗料		塗膜中に鉛の含有が0.06%、クロムの含有が0.03%以下になる塗料(JIS K 5674と同等)	
			B4:ホルムアルデヒド放散量低減塗料		ホルムアルデヒド放散量が基準値以下の塗料(例:表示が「F☆☆☆☆」等の居室用塗料)	
			B5:生態系配慮塗料		生態系への負荷低減がされている塗料(内分泌攪乱物質と称される物質などを低減)	
			B6:タールフリー塗料		タールを含まないエポキシ樹脂系防食塗料	
			B7:低臭塗料		塗装時の臭気をほとんど感知しないか気にならない塗料	
		環境改善機能	B8:低汚染塗料		塗膜が汚染し難いか、又は自己洗浄性がある塗料	
			B9:抗菌塗料		塗膜表面における細菌の増殖を抑制する塗料	
			B10:防藻塗料、防カビ塗料		塗膜に防藻性、防カビ性がある塗料	
			B11:防音塗料		防振、遮音、吸音の機能を有する塗料	
			B12:防火塗料		例えば、日塗工の不燃材料、準不燃材料、難燃材料として認定された塗料	
C	省資源	リユース、リサイクル	C1:リユース塗料		繰返し再使用できる塗料(例:水洗ブース水濃縮再使用)	
			C2:リサイクル塗料(再資源化)		リサイクル原材料を使用している塗料(例:再生PET、廃油)	
		長寿命型	C3:高耐久塗料		塗膜の期待耐用年数が15年以上の塗装系や塗料	
			C4:高耐候塗料		外装塗料で期待耐用年数が15年以上の塗装系や塗料	
		カーボンニュートラル	C5:脱石化資源塗料		有機構成成分に天然由来成分を使用している塗料	
D	省エネルギー	成膜時のエネルギー低減	D1:低温焼付塗料		乾燥・焼付け温度が120℃以下の塗料	
			D2:活性エネルギー線硬化塗料		UV硬化、電子線硬化タイプの塗料	
		塗膜によるエネルギー低減	遮熱機能	D4:高反射率塗料		太陽光の赤外線を反射し被塗物(屋根等)の温度上昇抑制効果がある塗料
				D5:断熱塗料(保温塗料、保冷塗料)		中空顔料(パール)等を配合し断熱性(保温性、保冷性)を付与した塗料
			防汚	D6:防汚塗料		海藻(アオサ)貝(フジツボ)等海洋生物が付着し難い船舶用塗料で航行速度低下抑制(TBT不含有)
E	土壌汚染防止	分解性	E1:易廃棄処理塗料		埋め立て可能で、自然分解する塗料、ただし規制されていない物質で構成されていること	

注) この表は、JIS Q 14021(ISO 14021:1999)の環境ラベル及び宣言—自己宣言による環境主張(タイプII環境ラベル表示)及び規格に記述のない自主基準その他を参考にし、まとめた一例である。

なお、〇〇フリー塗料のフリーの意味は、当該成分を意図的に配合しないと言う意味です。

<集計時の注意事項>

※上記に示す環境配慮塗料には、A~Eまでの各ジャンルにおいて重複して該当する場合が多くあり、集計される場合は代表される塗料タイプとしてカウントし、他のタイプでのカウントとダブらないようにする。